

平成27年度 音楽科 第3学年 年間指導計画

教科目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通じて、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け創造的に表現する能力を育てる。
- (3) 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

月	単元名・題材名	学 習 活 動
4	日本の歌の美しさ 「花」「花の街」	歌詞に込められた思いや、音楽との味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫する。
5	ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫 「L-O-V-E」 「上を向いて歩こう」 ロック・ジャズ・ラテン音楽など	様々なポピュラー音楽について、それらを形づくっている音楽の要素を感じ取りながら鑑賞したり、表現の工夫に生かしたりする。
6	アルトリコーダーの響き 「これは何とすばらしい音だ」 「ふるさと」	楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしいアーティキュレーションを工夫して器楽表現をする。
7	合唱の表現 学年・各クラスの合唱曲 「手紙」	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
9	いろいろな名曲 「ブルタバ(モルダウ)」 「レクイエム」 「革命」など	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取る。
10	合唱の喜び 学年・各クラスの合唱曲	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
11	ギターのコードにチャレンジ	ギターのコードから生まれるハーモニーを感じ取り、基本的な技能を身につけ表現を工夫する。
12	日本の心、イタリアの心を表す歌の味わい	歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら、曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫する。曲の特徴と声の音色との関わりを理解して鑑賞する。
1	日本の伝統音楽 雅楽 能 歌舞伎	日本の伝統音楽の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特徴や魅力を味わって聴く。
2	世界の諸民族の音楽	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取る。
3	合唱と歌唱の響き 卒業合唱曲 国歌・校歌	音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。
合計授業時数		35時間